

魚市場における漁獲物取扱工程の図化

水産土木工学部

研究の背景・目的

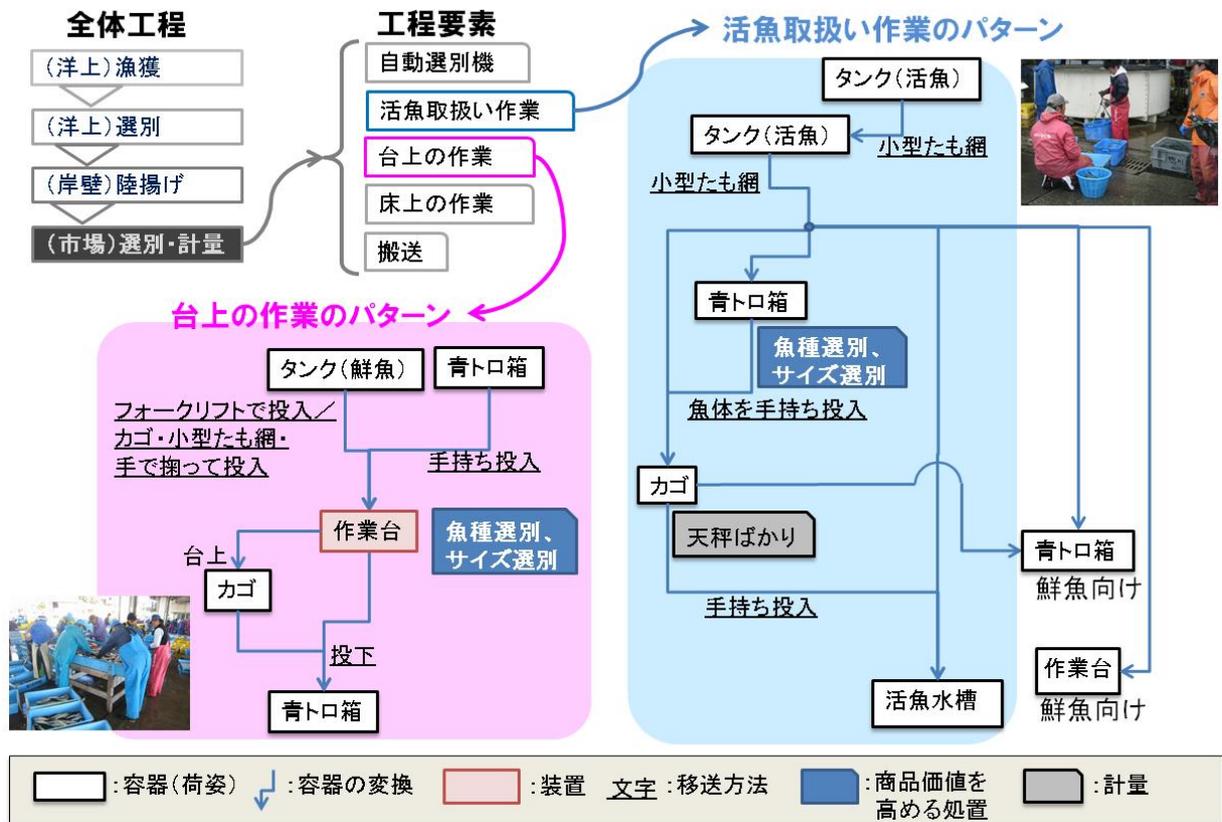
1. 魚市場では、品質管理のため、作業工程の円滑化と迅速化が求められる。
2. 魚箱の持ち上げや運搬に伴う身体負担を軽減する必要がある。
3. 改善策を議論するために、暗黙知となっていた作業工程を形式知へ変換する必要がある。

研究の成果

1. 千葉県 K 市の魚市場の事例を調査。固定的な5種類の工程要素が存在。日々の漁況、市況を勘案し、漁撈長の主観的判断により工程要素を組み合わせ、売値向上を図っている。
2. 各工程要素を「荷姿の変換過程」として捉え、作業パターンを図化。

波及効果

1. 身体負担の大きい作業方法の抽出と改善。改善効果の定量化。
2. 工程中のボトルネックの抽出と改善。改善効果の定量化。
3. 工程の管理と最適化をおこなう演算ツールの開発。



(地域基盤研究チーム: 佐伯公康、水産業システム研究センター: 高橋秀行・渡辺一俊)

(独)水産総合研究センター水産工学研究所 <http://www.nrife.affrc.go.jp/>